

# 恋する川柳物語かわら版



其の二十 第十九回「恋する川柳」―【夏】あなたと鮎む

(歩む) 川柳編 ― の応募作品集です。恋する気持ちを詠む

川柳「恋する川柳」夏編のお題は「鮎」、『鮎(あゆ)』という

言葉を句に詠み込むというお約束でしたね。

私事ですが、今年から子どもが小学校にあがり、二十年ぶりの「夏休み」を親子ともども満喫？した夏になりました。

いやー、学校の夏休みってこんなに長かったですっけ？？早く終われー。早く終われー。と念じながら、あのころはよくもこれだけ遊び呆けてこられたもんだなあ…と変に感心しているところで(笑)。

みなさんはどんな夏の終わりを迎えていらっしゃるのでしょうか？あれほど嫌われ者だった猛暑も、秋風が吹き始めるころになると心持ち淋しい気もするかも…。

近づいてくる秋の足音に耳を澄ましながら、ほな、ぼちぼち見てつかあさいな。

## 【応募作品一覧】

◆ 男子女子 夏の出会いで 様(summer) 変わり  
(詠み人知らず)

◆ 君の頬 ひかる川面に 夏をよぶ (P・N 今々爺)

◆ 友釣りの 鮎になりたや 君がため (P・N おくたる)

◆ 友釣りは 恋のさや当て 鮎悲し (P・N 香流)

◆ 其処らじゅう 撒餌を流す 適齢期 (P・N 美桜パパ)

◆ なでしこで 元気と恋が 急上昇

◆ 友釣りに 行ってなぜだか 彼釣れた

◆ 夏祭り 花火見る夜に 蛍舞う  
(P・N いいだやひやく)

◆ 手をつなぎ 女房と歩く 夏祭り (P・N ばさら)

◆ 素麺に 託して流す 恋心

◆ せせらぎを BGMで 恋語る (P・N 酒乱Q)

◆ 花火の夜 毎年違う 彼の腕 (P・N ボケ爺さん)

◆ 名水の 鮎の遊歩路 今年こそ (P・N 笑全)

◆ 結婚は 理想を追わず 鮎(歩)み寄り  
(P・N だいちゃんZ！)

◆ 野菊から 向日葵になる 愛の花 (P・N 比呂子)

◆ 指一つ 信じて握り 歩む孫 (P・N 夢老人)

◆ 一匹の 鮎で10匹 ママは釣り

◆ 若鮎の美貌 落鮎の脂肪 (P・N かわちゃん)

◆ 彼の背に 「どんかん」とある 日焼けあと  
(P・N 姫ちゃん)

◆ 君のいる ほうへヒマワリ 向いて咲く (P・N 笑太)

◆ 虫籠に 君を入りたい 夏の午後

◆ 若鮎の ごとき彼女の 水しぶき (P・N しげのり)

◆ 浴衣から 娘心が 顔を出す (P・N 美山)

◆ まっしぐら あなた目指して 上る鮎(愛)

(P・N ゆりかもめ)

◆ 夏の恋 歩み寄り過ぎ 爆発だ

◆ 天の川 氾濫しても 歩む恋

◆ 一歩二歩 歩んで行くと 彼のどこ  
(P・N 働き蜂ちえちゃん)

◆ 鮎と成り コートで跳ねる 君眩し

◆ 落ち逢(鮎)て 三滝溪での 初デート

◆ 若鮎が グランド跳ねる 炎天下 (P・N おじゃすか)



◆ 盆帰省 嫁にもいかず 待ってた娘

◆ Whoアユー 教養のある 認知妻 (P・N老虫)

◆ ヨチヨチと 歩む孫へと 歩をシフト (P・Nがらっぱ)

◆ 夏が来て 寄せては返す 恋の波 (P・Nひまわり)

◆ 思い出の 夏を彩る 恋の川 (P・Nとんちゃん)

◆ 「這う鮎? ノー這うは主に 爬虫類」  
(P・N UZAC)

◆ 共白髪 誓い歩んで 40年 (P・N高塔山の河童)

◆ ぴちぴちと 若鮎のよな 君に恋

◆ 鮎を釣り 鮎を焼きたる あの河原

◆ 鮎のよな スマートな君 愛してる (P・Nたかさま)

◆ ぴちぴちの 鮎になります ハネムーン  
◆ なぞなぞで Are You (鮎) a f i s  
h?と問うてみる (P・Nチョークまみれ)

◆ 川砂に お嫁にしてね 築時雨 (P・Nとうちゃん)

◆ 夏空に 押されるように 手をつなぐ  
(P・Nあじさい娘)

◆ 三滝溪 歩む二人は 炎天下 (P・Nドンキホーテ)

◆ 鮎一途 愛も一途の にぎりめし (P・N美男子)

◆ しなやかな 君の動きに 似たる鮎

◆ 鮎に似た 君の背なかを そっと撫で

◆ また来たよ 二人で歩む アユの町 (P・Nやまちゃん)

◆ プロポーズ あなたと歩むと 決めた夏

◆ 風鈴が キス待つ時を 合図する (P・Nはるやす)

◆ 夏の夜に 二人の月見 想いつつ

◆ 夏まつり 枕ひとつに 結ぶ恋

◆ 夏の夜が 恋しいあなた 偲ぶ愛 (P・Nれんこ)

◆ 歩み寄り 互いの良さが 見えた距離 (P・N鼓吟)

◆ 螢より あなたに見惚れる 夏の夜 (P・N紅玉)

◆ まぶしいと 浴衣の裾を 見た君 (P・N夕顔)

◆ 片想い 心配そうに 鮎跳ねる

◆ 歩み寄る方は わたしで 恋揺れる

◆ 鮎焼いて 素直になってゆく心 (P・Nれんじい)

◆ “熱さ”なら 猛暑に負けぬ 恋心

◆ 朝顔に 話しかけてる キミが好き

◆ 節電で 温度差縮める 夫婦仲  
(P・Nキング・コングウ)

◆ 清流の 鮎を追いかけて ごつつんこ (P・N真昼)

◆ ふる里の 匂い漂う 清流を

◆ 還暦を 過ぎてても鮎む 腐れ縁

◆ 天国も 地獄も一緒に 鮎んでね (P・Nみゃんくん)

◆ 握る手に 力を込めて 天の川 (P・Nシロ)

◆ 神代から 千代の川辺や 鮎 (愛) 幾代

◆ 折笠が 一日香魚と 戯れん (兵庫県)

◆ 夏の恋 波の数だけ 河原 (ここ) にある  
(P・Nなほばば)

◆ 君なりに歩め 母など振り向くな (P・Nあいらむ)

◆ 歩み寄り 笑いたえない 嫁姑

◆ ころぶ孫 掴まり立ちし 歩み出す (兵庫県)



◆ 取れ立ての 鮎です愛も 生まれたて

◆ 若鮎の ようにピチピチ 君の愛

◆ この鮎は 酸いか甘い か 塩っぱいか (P・N すみれ)

◆ 寝苦しさ 夏の暑さの せいではなく

◆ 夏バテか? 減量でもない! 本当は…

◆ 猛暑より 熱い思いの 僕がいる (P・N 薬寺村 池丸)

◆ 歩み止め 君の笑顔に 振り返る

◆ 若鮎の 跳ねる姿に 君重ね

◆ 若鮎と 見紛う君の シルエット (P・N 颯爽)

◆ 夏の夜 昔の恋が 蘇る

◆ サングラス 越しに見た人 今は妻

◆ 初恋を 夏の太陽 育みぬ (P・N クジラ)

◆ 頬にキス できずにあてる 缶ジュース (P・N 夏多感)

◆ ほまれなり なでしこあゆんだ きんのみち

◆ アイすとな つめたさはんぶん あつさじゅうぶん

◆ さわがずに たまとあゆんで きんほまれ (東京都)

◆ いばら道 歩んでゆける 君となら

◆ 今夏こそ 歩み寄りたい 高嶺花 (P・N ベーちゃん)

◆ 鮎ツルリ しながらかお 恋でした

◆ 恋人は ポニーテールも 良く似合い

◆ 涼風に 逢いたい気持ち 届けたい (P・N 最能美湯参)

◆ シャワーして 一途な鮎に なっていく (鳥取県)

◆ 重い荷を 背負うて歩む 古稀の坂

◆ 手を繋ぎ 歩んだあの日 忘れない (P・N 艶子)

◆ 飛び跳ねる 鮎と上流 夢はせる

◆ 家族と歩んだ アナログテレビに 暇あげる

◆ 還暦同志 出合い新たな 道歩む (P・N 山陰の写楽)

◆ 健康で 歩めば幸も ついてくる

◆ 焼鮎を 膳に並べて 夫を待つ

◆ 鮎鮎に 舌鼓打つ ふたり連れ (岡山県)

◆ 君の顔 眩しくて陽に 手をかぎす (P・N ローズ)

◆ 串焼きの 清流の鮎に 気品あり

◆ ロボットと 一緒に歩む がれき道 (鳥取県)

◆ 鮎はエコ 見ても食べても 漁を呼ぶ

◆ 河原の 鮎は人より 美男美女

◆ 名物に 鯉を加えりゃ 愛 (鮎) と恋 (大阪府)

◆ 篝火も 螢も鮎も 鵜も哀し (P・N 石花菜)

◆ 若鮎で 昔をしのぶ 太っ腹 (P・N 落犀庵)

◆ ハ上姫 歩む姿は 百合の花

◆ 鮎釣りで 出合った縁が 仲良しに

◆ 政治家は 何故歩みより しないのだ (鳥取県)

◆ 歩み寄る心 金婚式迎え

◆ 鮎が好き 鮎より君が もっと好き

◆ かき氷 女と食べた ことがある (P・N しんちゃん)

◆ 夏の恋 落葉と共に 散りました

◆ ギラギラも はねとばしたね 夏の恋

◆ 猛暑なみ 燃えた燃えたの 夏の恋 (鳥取県)

◆ 釣り人が 鮎を求めて 河原へ (鳥取県)

◆ 天然の 鮎の塩焼き 夏来たり

◆ 鮎もらい 我家の漬物 お返しに

◆ 漬物と 鮎と交換 夏来たり (P・N 雪子)

◆ 四鮎 逃がして今日の 幕を引く

◆ 化粧塩 泳いだ形で 焼けた鮎 (大阪府)



◆ 夏の日の 熱き想いに 鮎(会)たくて  
◆ 涼しげな 浴衣の裾が 鮎もよう (P・N せんちゃん)

◆ 夏の雲 二人の歩み 見詰めてる (P・N 小星)

◆ 故郷の友 鮎(あい)語り 夜が更ける (P・N ゴン公)

◆ 二人きり 鮎の塩焼き 愛でる夏 (P・N 風柳子)

◆ 散歩行き 鮎釣りおじさん あいさつし (P・N タ樹)

◆ 二人して 浸けた手元に 鮎走る (京都府)

◆ ぱっと咲く 花火じゃ嫌よ 灼熱を (奈良県)

◆ 愛破れ 腹わた煮ゆる 鮎苦し

◆ 落ち鮎の 心変わり 老いらくの恋

◆ 初恋いずこ 便り求めて 流し鮎 (富山県)

## 【番外編】

◆ 蝶二頭 戯れ合いながら 道渡り (P・N こみち)

◆ This is it 擦り切れるほど 見るだろう  
(P・N P子)

◆ なぜかしら 想いつのれば なつかしく (P・N まこと)

◆ 愛してる 妻に言われて じんましん

◆ 安もんの 指輪値段を 伏せたまま

◆ お手当てを 弾んで孫の 運転手 (P・N 茂平)

◆ 古女房 言う方だって 古いのに

◆ 恍惚の 山のふもとの 二人連れ

◆ 長続き している今日も ハイタッチ (P・N 比呂子)

◆ 君がいて 逆に涼しい 逆風も (P・N 泰平楽)

◆ 太ったが あなたと肥えた 天城肥え  
(P・N よこちゃん)

◆ 節電に 萎まぬドーム 裏金か (P・N 独言/居士)

◆ 手のひらに 落ちてゆきたい 恋椿 (P・N ふくりん)

◆ 消えそうな 思慕搔き立てる 古都の旅 (P・N なごみ)

◆ おやすみが 残る受話器で 今日も終え

◆ 古い忘れ 程よい距離の 恋をする (P・N ふり蛙)

◆ なにげない その一瞬に ときめいて (P・N えるむ)

◆ 愛猫が 物思いする 春の縁

◆ 愛猫の 瞳にかかる 恋の虹

◆ 愛猫愛し 抱いて愛しく 寝て愛し (P・N とらちゃん)

◆ かわはらで 君に恋する いつまでも (P・N なほぱ)

◆ 山頂で ピッケル振らせる 恋心 (P・N まっぴー)

◆ 遮断機の 棒が上がって 恋が来た

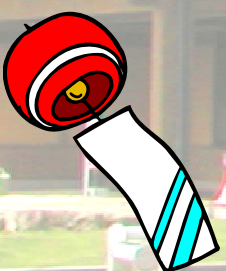
◆ 告白に 一年分の 深呼吸 (P・N アダン)

◆ マドンナと ハイタッチする クラス会  
(P・N 茶乱歩乱)

◆ ゆっくりと 歩いて見たい 姫の里 (鳥取県)

◆ 道の駅 あなたに寄りそう 河原の愛 (京都府)

◆ 愛し君 逢いに恋々 かわはらへ (奈良県)





【学校編】

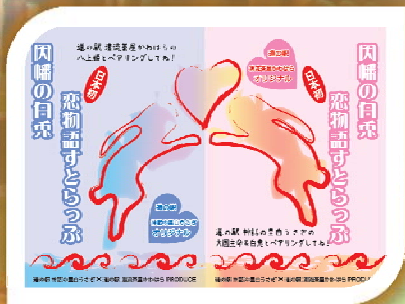
- ◆ 帰り道 あなたの隣を 歩みたい
  - ◆ 鮎釣れた あなたはとても 嬉しそう
  - ◆ 恋心 鮎も心も 飛びはねる
  - ◆ 坂道を あなたと歩くと 辛い
  - ◆ 季節夏 暑いアタック 歩みよる
  - ◆ 愛犬と いっしょに歩む 青春だ
  - ◆ 夢見てる あなたとともに あゆむ夏
  - ◆ 来年も この道一緒に 歩もうね
  - ◆ この道を あなたと一緒に 歩めたら
  - ◆ 暑い夏 恋する夏も 暑いよね
  - ◆ 手をつなぎ ひまわり道を 歩んでく
  - ◆ 進路希望 同じ道へ 歩もうか
  - ◆ 思い出す あなたと共に あゆんだ日
  - ◆ 登下校 いつかあなたと 歩みたい
  - ◆ 鮎のいる 水面に映る 影二つ
  - ◆ 肝試し あなたと歩めば 怖くない
  - ◆ 歩みたい あなたと一緒に この先を
  - ◆ 夏祭とともに恋する 今あゆむ
  - ◆ 手を握り ドキドキ歩む 夏祭り
  - ◆ 夏祭り あなたとあゆむ 帰り道
  - ◆ 花火見て 隣合わせで 歩もうね
- (以上大阪府 吹田市立豊津西中学校御一同様)

【特別賞】

- ◆ ほろ苦い うるかの様な 恋の味 (P・N 香流)
- ◆ 《一言》「うるか」ですか。熟年の恋って感じで：ウフ。
- ◆ どの疑似餌 使えば釣れる 片想い (P・N 美桜パパ)
- ◆ 《一言》恋の疑似餌、考えただけでわくわくしてきます。
- ◆ 紹介と という名の友釣り 恋ゲット (P・N だいちゃんZ！)
- ◆ 《一言》紹介分横取りっすか！？どうゆうことよく？？
- ◆ 父見捨て 天の川渡る 我が娘 (P・N まさワンコ)
- ◆ 《一言》美しいじゃないですか。へこむな、お父さん！
- ◆ 慣れぬ下駄 背負われてみた 夏祭り (P・N とんぼ)
- ◆ 《一言》大人になるとね、下駄も履きこなせるんです(涙)。
- ◆ 下駄の音の 伴奏君の 笑い声 (P・N 蟻星)

～因幡の白兎 日本初の恋物語すとらっぶが誕生！～

道の駅神話の里白うさぎ（白兎海岸）との「因幡の白兎」コラボグッズが販売開始になりました(\*^▽^\*) 河原では八上姫ストラップを、白兎では大国主命&白兎ストラップをご購入いただけますと、写真のように仲睦まじいカップルの姿にお目にかかれます♥磁石の愛の力でぴったんこ♪♪日本で一番はじめに生まれた恋物語を象徴するこちらのコラボグッズ、お見逃しなく!!! 500円で販売。



《一言》これぞ日本。お祭で日本全国を少しでも元気に！  
◆ ドキドキを うちわで扇ぐ 夏祭り (P・N はるやす)

《一言》これって、男前なあおぎ方でもありますかね？  
◆ 休みでも 恋する気持ちは 皆勤賞 (P・N 未吹 明)

《一言》皆勤賞のごほうびは、何をいただけるのかな♪  
◆ 照れ隠し 海で本気の バタフライ (P・N 夏多感)

《一言》いやいや、バタフライはないわなあ。ウケた☆  
◆ 鮮やかに 浴衣を照らす 恋花火 (P・N ベーちゃん)

《一言》「恋」と付くだけなのに、なんてオトメな世界に。  
※以上十名様には、秀句としてミニモアイをお贈りします。また、今回も優秀な作品が多く、惜しくも特別賞に届かなかった次の三名の方の作品も、プチ特別賞としまして、ミニ恋うさぎストラップをお届けします。

◆ 夏祭り ばあば恋バナ 語り出す (P・N 真昼)

◆ 定年後 初めての夏 恋うふふ (P・N 船岡五郎)

◆ 君となら も少し歩むも 悪くない (P・N あいらむ)

なお、紙面のスペース上、多数にわたるご応募の方につきましては、掲載を一部割愛させていただいております。また、作品にペンネーム (P・N) の付していないものについては、宛先のみご紹介させていただいています。

また、抽選の結果発表については、発送をもってかえさせていただきます。次回の【秋】「は梨(話)ふくらむ川柳」編は九月に募集しますので、お見逃しなく☆

by: KISAKI HIMEKO  
(郷土神話観光ガイド☆)